

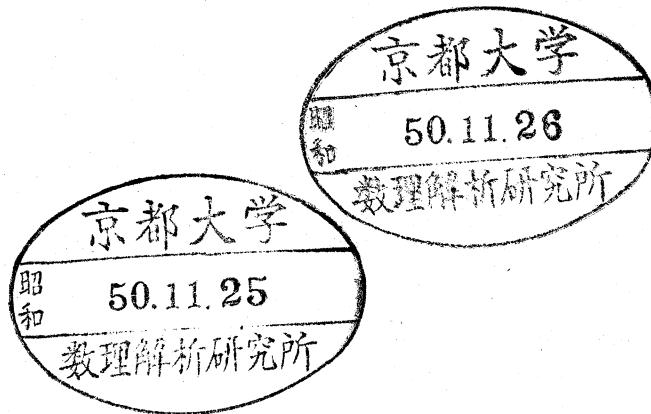
K-570



数理解析研究所講究録 252

短期共同研究

Topological Models in Biology



京都大学数理解析研究所

1975年9月

短期共同研究

Topological Models in Biology

報告集

1975年 6月25日～28日

目 次

1. Topological Problems in Biology 1

京大 理 奈本 英

2. カタストロフと Liquid-Gas Phase Transition 2

京大 理 土肥 啓一

3. Spontaneously broken symmetry and the cusp catastrophe .. 12

愛媛大 工 荒木 次郎

愛媛大 工 矢野 忠

愛媛大 工 上田 正経

愛媛大 工 野田 松太郎

4. A Partial Differential Equation for a Model of

- Morphogenesis 16

京大 理 宇敷 重広

5. 偏微分とカタストロフ —形態形成— 21

京大 理 宇敷 重広

6. 生態系の構造、安定性、効率(I) 28
京大 理 芦田 廣
京大 理 川崎 広吉
京大 理 丹須紀六迷
7. Prey-predator の安定性 40
京大 理 川崎 広吉
京大 理 丹須紀六迷
8. カタストロフ理論の数理生態学での展開 48
京大 理 山村 則男
9. 生態系の構造とカタストロフ 55
京大 理 山村 則男
10. 質的現象の解析学 — カタストロフ理論と社会認識 — 81
京大 経済研 佐和 隆光
京大 理 宇敷 重広
11. 空間・分類・カテゴリー — 科学的思考の原初的、
基底的な形態 — 116
京大 人文研 山田 慶児

Topological Models in Biology

京大理 荒木 英

これは1975年6月25日から28日にわたりて行はわれた上記の題の研究会の報告に關するものである。數学者、生物学者、物理学者、経済学者、人文科学者など多様な顔ぶれが一同に会して内容も多岐にわたる話題が自由な雰囲気の中で議論され、数理解析研究所の研究会としては異色は、またそれだけに新鮮な意義のある会合であった。

自然科学、人文科学、社会科学を通じて、近代科学の流れと共に、分析的還元論的アプローチから抜け出して、新しい認識の世界を見出そうとする學問的ロマンチズムがただようといった氣持のいい集会である。当日の話の連記録のようほものが作れたら、たいへん興味のあるものになつたかも知れないが、中途半端な報告書を編集するよりは話題を提供して戴いた方々の最近の論文や論説とまとめで録りをして戴く方が有意義なものになるとして、御協力をお願いした。